

平成 29 年 10 月 27 日 公営企業会計決算特別委員会第 1 分科会(中央卸売市場)

○小林委員 私からは、築地市場及び豊洲市場についてお伺いをいたします。

初めに、築地市場の修繕工事についてですが、昨年十一月に予定をしていた豊洲市場への移転が延期をされ、ことし六月の市場移転問題に関する基本方針などにより改めて移転することになったわけですが、築地市場の修繕工事について、豊洲市場への移転延期に伴い、平成二十七年度と比較して平成二十八年度はどのように対応しているのか、確認をいたします。

○白川事業部長 築地市場において実施をいたしました修繕費の執行額でございますが、平成二十七年度は約一億五千万円ございまして、平成二十八年度につきましては約八千六百万円ございまして、比較をいたしますと減少しているところでございます。

これは、電気通信関係の改修工事などの機械及び装置補修が減少しているのが主な要因でございます。

また、路面、マンホール、グレーチング、便所等の修繕の一部は都の職員が直接修繕したことによりまして修繕費には反映していない、こういったこともございまして、工事实績の金額が減少しているものでございます。

○小林委員 本日提出をされました資料の過去十年の築地市場の修繕工事費の推移を見ますと、平成十九年度から平成二十七年度の平均修繕工事費は約二・五億円となりますが、平成二十八年度は、当初、移転が予定をされており、先ほど答弁にもあったような執行額の減少理由があったわけですが、豊洲市場への移転は来年秋とされておりますので、まだ一年あるわけでございます。

豊洲市場への移転まで築地市場の機能を維持していくための修繕などに今後どのように取り組んでいくのか、お伺いいたします。

○白川事業部長 昨年十一月に、築地市場内の都の施設の劣化状況につきまして臨時の点検を実施しております。

路面のひび割れの補修など緊急を要するとされた百二カ所につきまして、昨年度から今年度にかけて、既に対応を実施しているところでございます。

今後も、老朽化した施設の劣化状況につきまして、引き続き監視を強化しながら、危険な箇所を早期に発見し、直ちに適切な対応を行うことで、市場が支障なく運営できるように取り組んでまいります。

また、市場の機能維持に要する修繕費用につきましては、必要に応じて適切に確保してまいります。

○小林委員 移転まで、しっかりと築地市場の機能を確保することは大変重要であります。先ほどの答弁にもありましたが、都の職員の方々が一部の修繕について直接取り組んでいるとのことですが、残りの一年間、迅速かつ手を抜くことなく必要な修繕を引き続き着実に実施して、築地市場の機能を確保していただきたいと思います。

次に、移転延期に伴った市場業者の皆様への支援策についてお伺いをいたします。

昨年、移転が延期になって以降、都議会公明党は、繰り返し市場業者への不安解消に向けた取り組みの充実というものを求めてまいりました。私も、昨年十月、豊洲市場の一連の問題について実質的な集中審議の場となった経済・港湾委員会で、市場業者への支援策について質疑を行わせていただきました。

まず、豊洲市場への移転延期前までの移転支援に係る実績についてお伺いいたします。

○赤木移転支援担当部長 都は、豊洲市場に移転する市場業者の移転に関する経済的な負担を軽減し、円滑な移転を推進するため、制度融資等に対する利子補給事業に加えまして、市場独自の融資事業を実施しております。また、環境・省エネ設備に対する補助事業を行いまして、市場業者の円滑な移転を進めております。

これらの移転支援策の利用実績は、平成二十八年八月末現在で、利子補給事業が二百件、融資実行額が七十八億五千万円、各種融資事業は四十六件、六十四億八千万円でありまして、環境・省エネ設備補助事業は千百六十七件の申請がございました。

○小林委員 ありがとうございます。

次に、移転延期決定後の移転支援に係る実績と取り組み内容について確認をいたします。

○赤木移転支援担当部長 都は、豊洲市場への移転延期に伴う市場業者の経済的な負担を軽減しますため、平成二十八年十二月から、利子や保証料等の融資条件を大幅に緩和した新しいつなぎ融資制度を創設いたしまして、仲卸業者、関連事業者、合わせて二百八十八件の融資を新たに行いました。

環境・省エネ設備補助事業につきましては、補助金相当額のつなぎ融資の実施と、豊洲市場内に設置が確認できた設備に対する早期交付を実施しております。

また、市場業者の資金繰り等の課題や不安などに適切に対応するため、金融機関等と連携をいたしまして、平成二十八年十月から築地市場関係事業者向け特別相談窓口を設置し、相談体制の強化を図っております。

こうした取り組みを行ったことなどによりまして、平成二十八年九月から二十九年三月末までの移転支援策の利用実績は、利子補給事業が八十九件、融資実行額が二十四億三千万円、各種融資事業が三百十六件、二百八億七千万円でございます。環境・省エネ設備補助事業は九百二十九件の申請となっております。

○小林委員 今ご答弁のありました、市場業者の資金繰りなどの課題や不安などに適切に対処するため、築地市場関係事業者向け特別相談窓口の設置というものがございましたけれども、この相談窓口の設置は、ちょうど私が経済・港湾委員会で質疑をした日でございました。

その際、どのような相談内容を想定しているのかということをお伺いしましたが、そのときの答弁では、資金繰りに関係する相談内容が多いと想定されるということと、延期による経済的な損失と補償について、相談窓口へ寄せられた内容を適切に補償に結びつけるよう、資料としていきたいという答弁がございました。

移転延期後、都は、相談体制を強化する中で、相談窓口には具体的にどのような相談が寄せられ、都はどう対応していくのか、お伺いをいたします。

○赤木移転支援担当部長 都では、移転延期による市場業者の資金繰りなど経済的な不安に対応するため、平成二十八年十月から、築地市場内にある豊洲移転サポート相談室の相談員を増員しまして体制を強化いたしました。

サポート相談室にはさまざまな相談や質問が寄せられましたが、主なものとしては、例えば、年末に向けた資金繰りが不安であり、つなぎ融資はいつ出るのか、あるいは設置予定の設備が補助金の対象となるのか確認をしたいというような資金繰りの不安などについての相談が寄せられました。

そのため、こうした市場業者の相談につきましては、融資を実施している金融機関にも伝え、丁寧な対応を依頼するとともに、都におきましても、市場業者向けの説明会を開催するなど、支援策の実施に向けて適切に対応を行っております。

市場業者の置かれた状況はさまざまありますことから、今後とも、豊洲市場への移転に向けまして、市場業者に真摯に対応しながら移転支援策を実施してまいります。

○小林委員 明年の移転に向けて、さらに具体的な相談も今後予想されるかと思います。市場業者の皆様には並々ならぬ心労をおかけしたからこそ、誠意を持った丁寧な支援策の充実を今後ともお願いしたいと思います。

こうした市場業者への支援策とともに、豊洲地域の風評対策、都民への情報発信の充実を図っていくために、私は、昨年のこの経済・港湾委員会の質疑の中で、関係者間で情報共有、意見交換を行っていくために、そのときに既に設置をされておりました土壤汚染対策工事と地下水管理に関する協議会を早期に開催していくべきではないかと述べさせていただいたところでございますが、この土壤汚染対策工事と地下水管理に関する協議会の現在の状況について確認をいたします。

○鈴木技術調整担当部長 協議会は、学識経験者、市場業者、地元区、都民などから構成されておりまして、豊洲市場の土壤汚染対策工事の進捗状況や地下水管理について関係者間で情報共有し、意見交換を行う場として平成二十四年六月に設置されたものでございます。

昨年十月七日の委員会での質疑以降、早期の開催を目指しましたが、日程調整が整わなかったため、まずは専門家会議における検証を実施することといたしまして、十月十五日に第一回専門家会議を開催いたしました。

専門家会議では、協議会の所管事項でもあります地下水モニタリングの結果も含めまして、市場業者や都民に対し開かれた場で審議してまいりました。

また、地元区に対しても適宜情報を提供するとともに、区議会におきまして報告、質疑を行うなど、必要な情報共有を図ってまいりました。

○小林委員 協議会の早期開催に向けて取り組んだけれども、日程調整が整わなかったということでございますけれども、形式的に協議会を開催するということではなく、今ご答弁にもありましたけれども、地元区に対しての適切な情報提供、また、区議会等にも報告、質疑を行う、こういった、関係者間でどう情報を共有し、意見交換を行っていくのかということが最も大切であると考えます。

今後、この協議会を開催する予定があるのか、お伺いをいたします。

○鈴木技術調整担当部長 都では、専門家会議の提言に基づく追加対策工事の着実な実施とその過程を都民や事業者にわかりやすく発信するという具体的な取り組みによりまして、都民等の理解を求めていくこととしております。

このため、学識経験者、市場業者、地元区、都民などが一堂に会する協議会は有効であると認識しておりまして、追加対策工事の進捗状況なども勘案しながら、開催に向けて、今後、各委員と調整を進めていく予定でございます。

○小林委員 今ご答弁にもありました、協議会の有効性は都もしっかり認識をされているということでございますし、また、協議会は、単に情報共有するだけではなく、専門家の方々の意見も確認できる重要な場であると思います。ぜひとも、この協議会の本来の役割を果たしていくことによって都民の理解が進んでいくように取り組みを進めていただきたいと思います。

最後に、豊洲市場の地下水位についてお伺いをいたします。

豊洲市場では、地下ピットの対策や地下水管理システムの機能強化といった追加対策は、不断の取り組みを進めていかねばなりません。そのためにも、地下水位を下げることは重要な取り組みであります。

昨年、豊洲市場の一連の問題発覚後、都議会公明党は直ちに現地調査を行いまして、地下水位の問題に着目をし、今日まで繰り返し地下水位のコントロールへの取り組み強化をただしてまいったところでございます。

このたびの決算説明においても、地下水位を下げる、管理するための経費が計上されておりますが、その内容について確認をいたします。

○鈴木技術調整担当部長 地下水管理システムの整備のための地下水管理施設整備工事や、地下水管理システムの運転管理のための地下水管理システム運転保守業務委託、さらには地下ピットからの強制排水のための豊洲市場排水工事などが計上されております。

○小林委員 都もこれまで、地下水管理システムでのくみ上げや地下ピットからの強制排水により地下水位の低下に取り組んできたとのことでございますけれども、早期に水位を下げる必要がある中、雨が降れば地下に雨が入り、大雨の際には、それだけ多くの雨が地下に入ってしまうことになることが懸念をされます。

先日の甚大な被害をもたらした台風二十一号は、二十三日の午前六時ごろには八王子市付近を通過し、東京を初め関東地方全域が暴風域となり、多くの河川が危険水位を超えるなど、かなり降雨があり、当然懸念をされるのは、これだけの雨が降ったことで豊洲市場の地下水位はどうなったのかということでもあります。

直近に起きたことでもあります。また、大事なことでもありますので確認をさせていただきますが、今回の台風二十一号の降雨によって地下水位がどうなったのか、この状況についてお伺いをいたします。

○鈴木技術調整担当部長 市場内の地下水位でございますが、九月中旬から続く秋雨の影響に加えまして、台風による集中的な降雨の影響もあり、台風直後の二十三日には、五街区では、APプラス一・五六メートルからAPプラス五・〇二メートルでございまして、平均でAPプラス二・八〇メ

ートル、六街区では、APプラス二・一五メートルからAPプラス四・九六メートルであり、平均でAPプラス三・〇七メートル、七街区では、APプラス二・二六メートルからAPプラス五・四四メートルであり、平均でAPプラス三・二九メートルとなっております。

○**小林委員** 今確認をした地下水位ですけれども、地下水位が一番高いところはAPプラス五メートルを超えているようですが、それはどこの地点なのでしょう。

多くの箇所では五メートルを超えているということなのか、あるいは五メートルを超えた地点には特徴的なことがあるのか、お伺いいたします。

○**鈴木技術調整担当部長** 地下水位は、建物周辺の外周部で二十カ所、建物下で十三カ所の計三十三カ所で計測しております。

十月二十三日の計測でAPプラス五メートルを超えていたのは、五街区の一カ所と七街区の一カ所の計二カ所でございます。これらはいずれも植栽部に設けられました観測井戸における水位でございます。二十五日の計測では、APプラス五メートルを超過した井戸は一カ所でございます。二十三日にはAPプラス五・四四メートルだったものが、APプラス五・一三メートルと、約三十センチ低下しております。

○**小林委員** 台風により水位が一時的に上昇したものの、二日後には下がってきているとのことですが、さらに懸念をされるのが地下ピットの中であります。

経済・港湾委員会の質疑の中で、我が党の上野和彦議員より、昨年、盛り土がなく、地下ピットが問題とされていたとき、地下ピットに水がたまっている映像が流されました、それは本当にショッキングな話で、不安を助長させた、もう二度とこういったことが起こらないようにしていただきたい、地下ピット内に二度と水がたまることのないように、肝に銘じて万全の対策を行ってほしいと、繰り返し強く要望してきたところであります。

台風二十一号による大雨で地下ピットに水がたまるようなことがなかったのか、確認をいたします。

○**鈴木技術調整担当部長** 二十一日の土曜日と二十二日の日曜日でございますが、台風の接近に伴いましてかなりの降雨が予想されたことから、必要な体制を整えて地下ピット内の釜場からの排水作業を実施いたしました。

これによりまして、地下ピットでの地下水位は、二十三日の計測結果によりまして、十三カ所全ての観測地点で地下ピット床面より低く、床面に水がたまるといったような状況にはなっておりません。

○**小林委員** 今のご答弁で、台風の降雨後に地下水位が五メートルを超えてしまったのは、植栽部に設けられた観測井戸の二カ所とのことでありましたが、こうしたことに対し、今後、地下水管理システムを有効に機能させていけるのかが重要であると考えます。

今後、地下水管理システムの機能強化に取り組んでいくはずであります。今回のような地下水位が高い植栽部に都としてどう対応していくのか、最後にお伺いいたします。

○**鈴木技術調整担当部長** 植栽部などの地下水位の高い箇所では、地下水位の低下工法として実績のあるウエルポイント工法により地下水位の低下を図っていくことといたしまして、現在、入

札契約手続中でございます。

これに加えて、現在実施しております揚水井戸からの揚水や観測井戸からのバキューム車による揚水、地下ピット内の釜場からの排水を継続いたしまして地下水位の低下を図ってまいります。

○**小林委員** 都議会公明党が今まで一貫して訴えてきた柱の一つは、この地下水位をどうコントロールしていくのかということです。

このたびの台風でも地下ピットには水がたまることがなかった、また、地下水位が高い緑地部では、ウエルポイント工法という地下水位を下げるための工法を行うとのことですが、今週末から来週にかけて、また台風二十二号が本州に近づくとの予測もされております。改めて、今後とも、地下ピット内に二度と水がたまることがないよう、油断なく万全の対策を講じていていただきたいということを強く求めたいと思います。

また、先ほど土壤汚染対策工事と地下水管理に関する協議会についてお伺いいたしましたが、この協議会が直近で開催をされたのは、昨年十一月七日の開場予定を間近に控えた昨年の六月二十八日でありました。この日の会合の席上、出席されていた市場関係者の発言を、昨年の経済・港湾委員会での私の質疑の中で紹介をさせていただきました。その方は、きれいな市場をつくらせてくれた東京都に本当に感謝しているんです、東京都が熱い声で、完全な完璧な市場なんだと声を大にしていてもらいたい、このように発言をされておりました。

豊洲市場の一連の問題が発覚してからのこの一年間、さまざまな課題に対処してきたことと思いますが、これから移転までの一年間、こうした思いで豊洲市場への移転に思いをめぐらせてきた方々の心を、私たち議会も、そして都の職員の皆様もよくよく心にとどめて前進をしていきたいと申し上げまして、私の質問を終わります。